

指掌紋用紙は、犯罪鑑識作業を進めていく上でほとんど問題ありませんが、ご存知のように精密な化学特殊紙だけに、特別な環境や条件によっては、判別に影響を受けることがあります。ご使用に際し、特に下記の点にご注意くださるようお願いいたします。

○直射日光にご注意ください。

使用前、指掌紋用紙を、直射日光に長時間さらしますと、化学変化により、機能が低下します。また、指掌紋が退色しますのでお避けください。



○異常な温湿度下での保存はお避けください。

異常な高温や湿気の多い場所での保存はお避けください。とくに、湿気の高くなる場所に長期間保存することは、劣化、汚れの原因になります。



○軟らかい塩ビ袋に入れて保存することはお避けください。

塩化ビニール袋に使用されている可塑剤の影響を受け、変退色することがあります。とくに軟質塩ビには、可塑剤が多く使用されていて、影響を受けやすくなります。なお、ポリエチレン袋は問題ありません。



○結露をさせないで下さい。

〈保管環境〉

温度/0~40℃
(20℃~25℃が最適)
湿度/20~70%RH
(60%前後が最適)



○酢酸ビニール系接着剤や揮発性の高い成分が含まれる糊、メクール、セロハンテープなどの使用はお避けください。

全てではありませんが、指紋印象が変退色することがあります。



○溶剤や薬品類などの付着にご注意ください。

アルコール、ガソリンなどの溶剤や、薬品類等を付着させることは、指掌紋がにじんだり、退色することがありますのでお避けください。



○蛍光ペン・朱肉類などの使用はお避けください。

指紋印象の上から蛍光ペンで書くと、変退色することがあります。朱肉類も指紋印象の上に使用すると、退色することがありますので、ご使用はお避けください。

